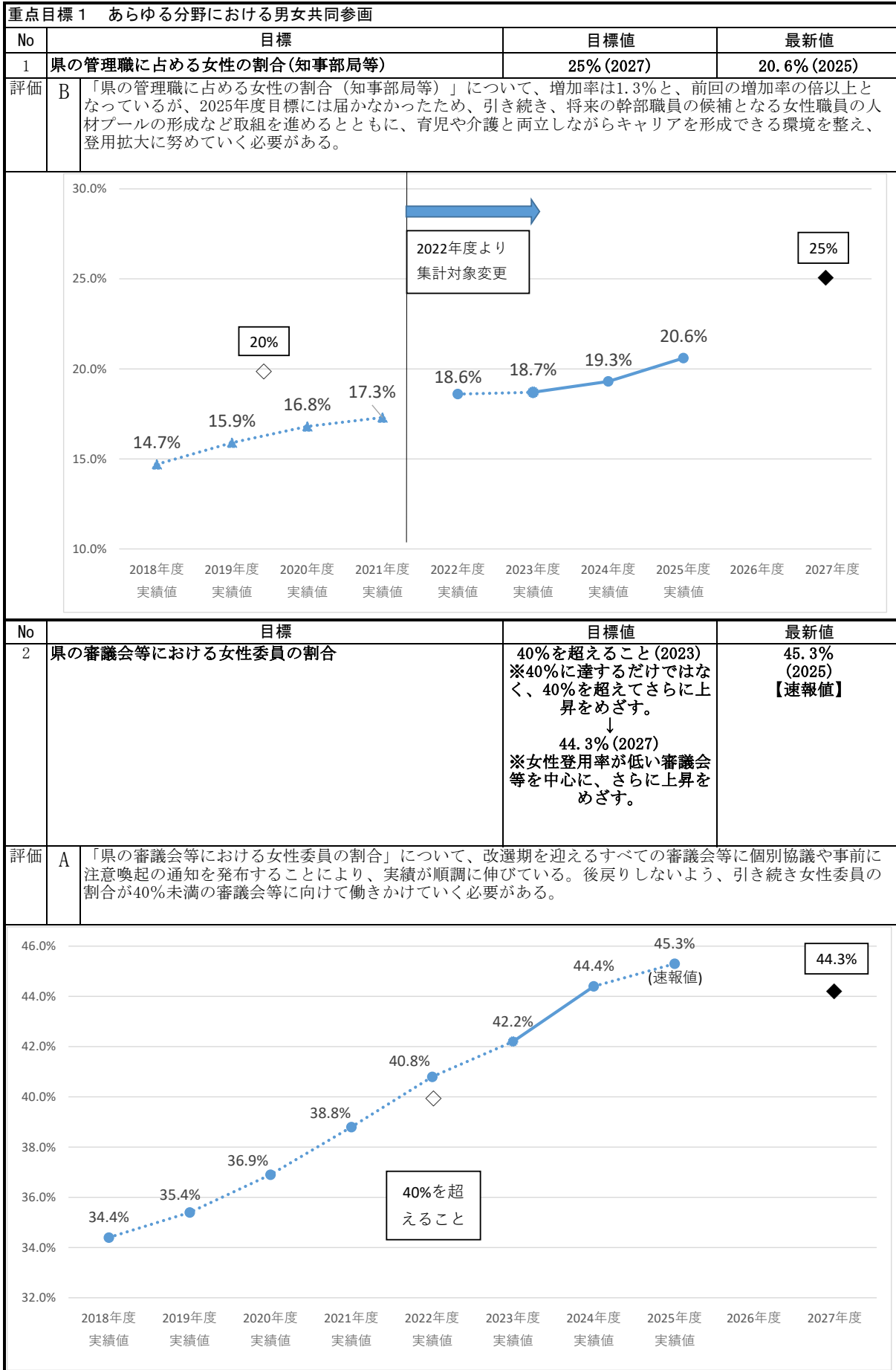


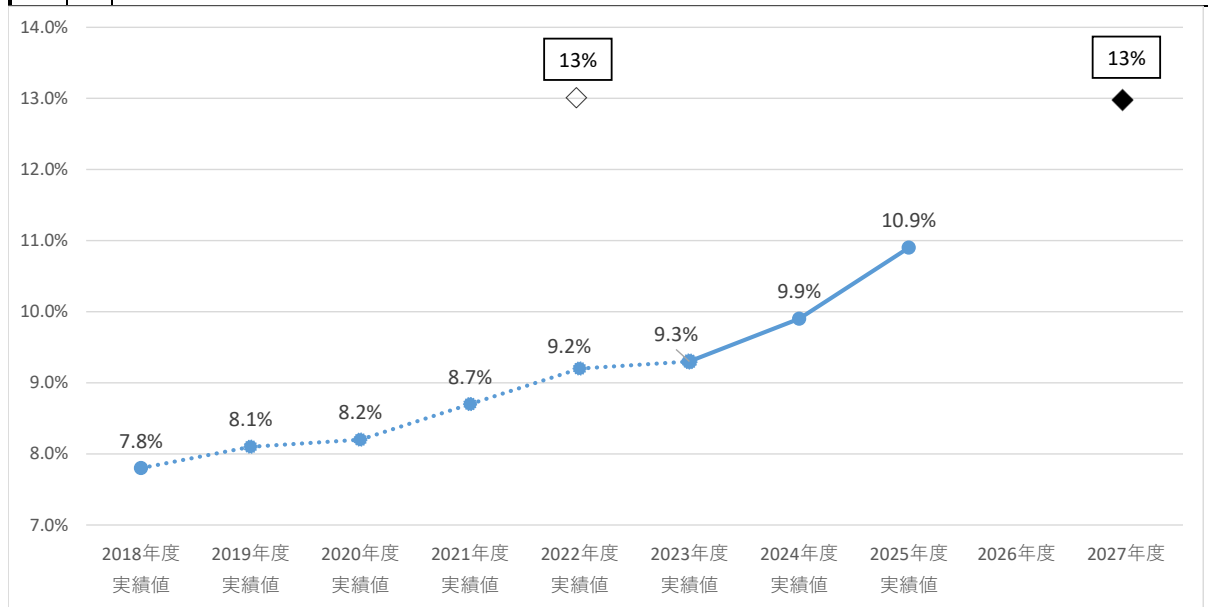
かながわ男女共同参画推進プラン（第5次）の数値目標の状況

補助資料2-3

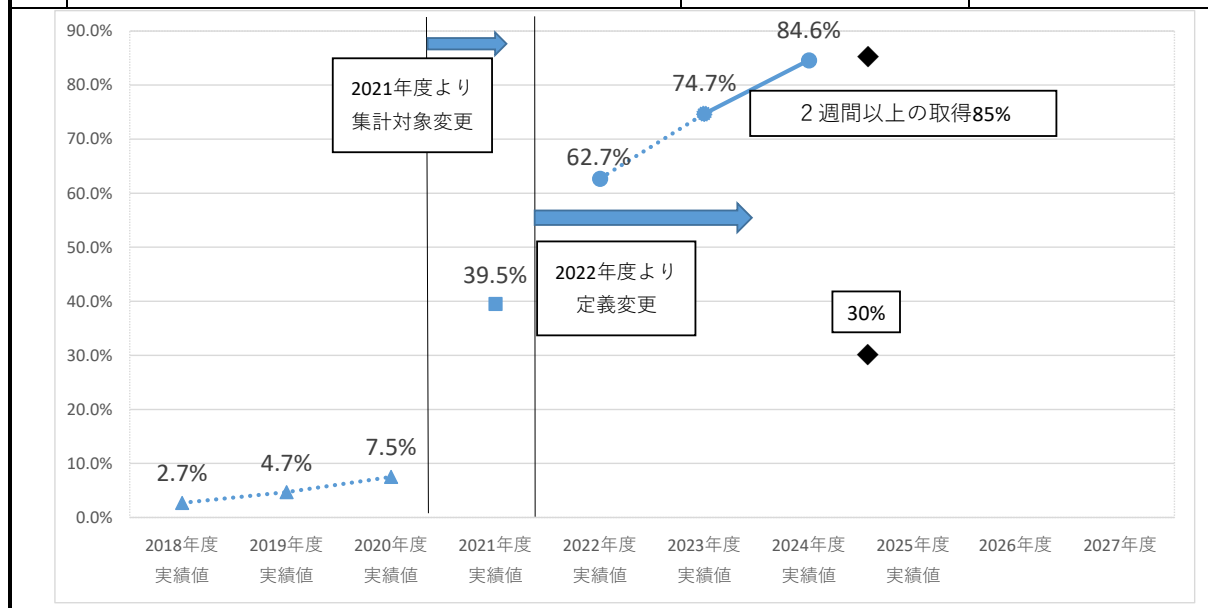
- ◆は、第5次男女プランの目標値、◇は、第4次男女プランの目標値です。
- 折れ線グラフのマーカー「●」以外は数値の対象者が変更になったり等を表しています。



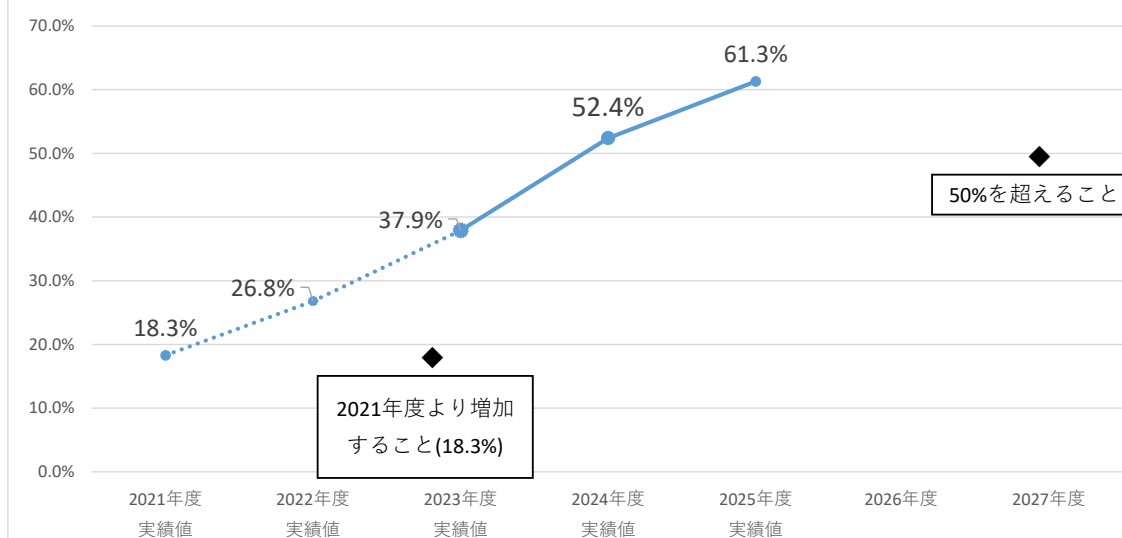
No	目標	目標値	最新値
3	民間事業所の女性管理職(課長相当職以上)の割合	13.0%(2027)	10.9%(2025)
評価	B 「民間事業所の女性管理職(課長相当職以上)の割合」について、参加者の性別を問わない「女性を部下に持つ管理職向けセミナー」は、アンケートは好評であり、実績も伸びてきていることは評価できるが、目標達成に向け、参加者のニーズを把握していく取組が引き続き必要である。		



No	目標	目標値	最新値
4	男性職員の育児休業等取得率(知事部局等)	30%(2025) ↓ 2週間以上の取得 85%(2025)	7月末把握予定

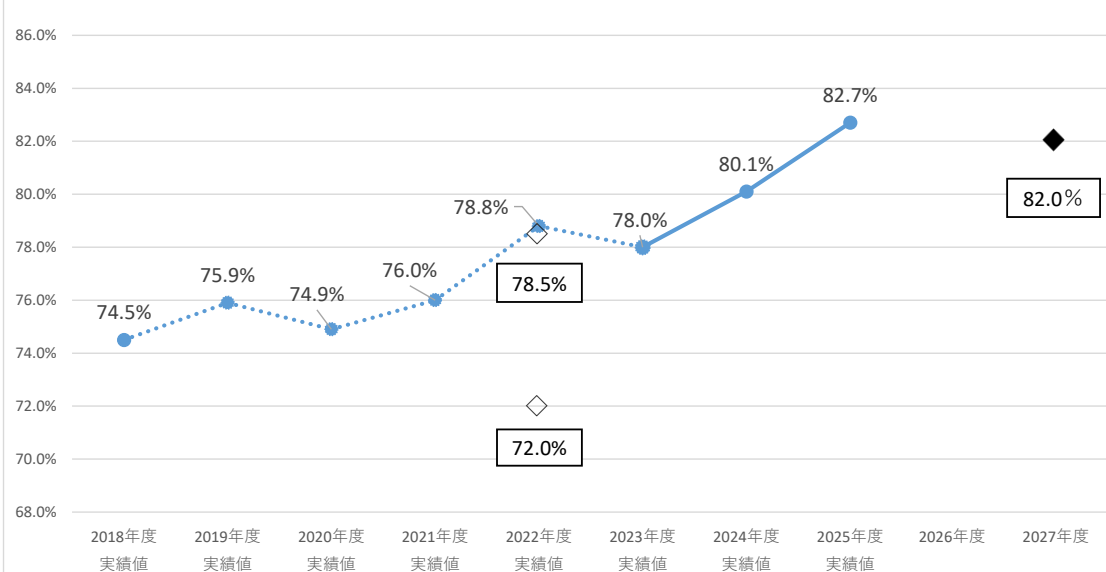


No	目標	目標値	最新値
5	民間事業所の男性の育児休業取得率	2021年度より増加すること (2023) ↓ 50%を超えること (2027)	61.3% (2025) (参考: 女性96.5%)
評価	A 「民間事業所の男性の育児休業取得率」について、かながわパパ応援ウェブサイト「パパノミカタ」（かながわ版父子手帳）を運営するなど男性の家事・育児参画を推進する取組を行い、目標を大幅に上回ったことは評価できる。引き続き、企業へ向けても男性の家事・育児参画に向けた職場の理解促進・意識改革を働きかけてくことを求める。		

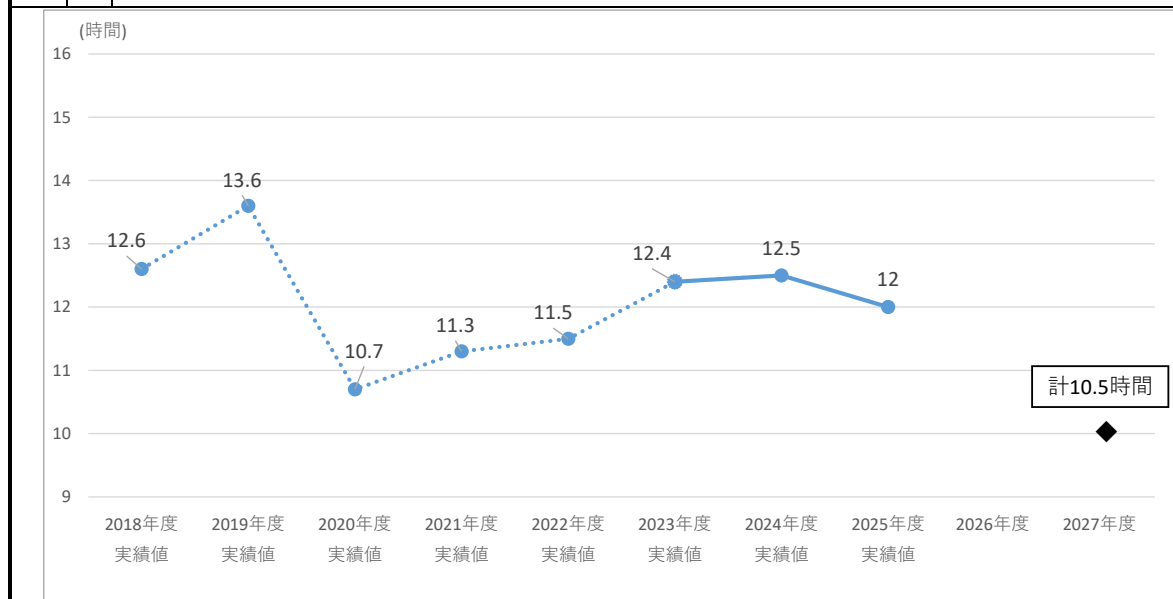


重点目標 2 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現

No	目標	目標値	最新値
6	25～44歳の女性の就業率〔労働力調査〕	82.0% (2027)	82.7% (2025) (参考: 男性92.7%)
評価	A 「25～44歳の女性の就業率」について、カウンセリングやセミナー、相談事業などの取組により、目標を前倒しで達成したことは評価できる。引き続き、男女の賃金格差の要因や背景など雇用における課題の把握に努め、今後の対策につなげていくことが重要である。		

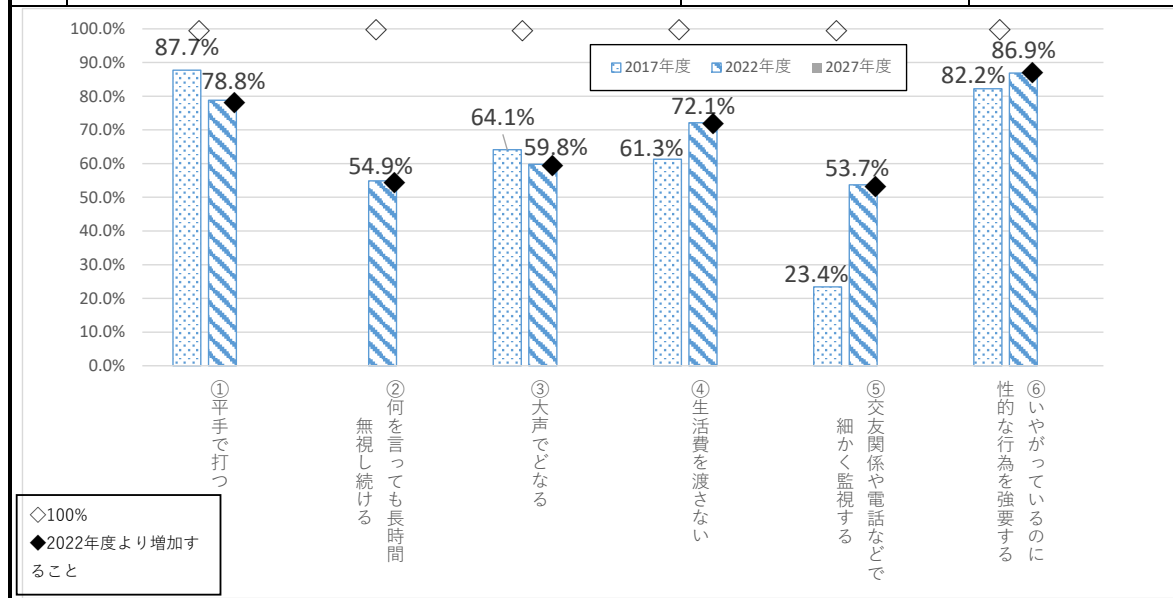


No	目標	目標値	最新値
7	常用雇用者30人以上の事業所における1人平均月間の所定外労働時間	計10.5時間(2027)	計12時間(2025) (参考: 女性7.7時間 男性15.2時間)
評価	B ワークライフバランスの普及啓発について、仕事と育児・介護等の両立や男性の育児休業取得促進に取り組む中小企業に対し、奨励金を交付することにより、職場の環境整備を促進したことは評価できる。引き続き、多様な人材が活躍できるよう普及啓発に取り組む必要がある。		

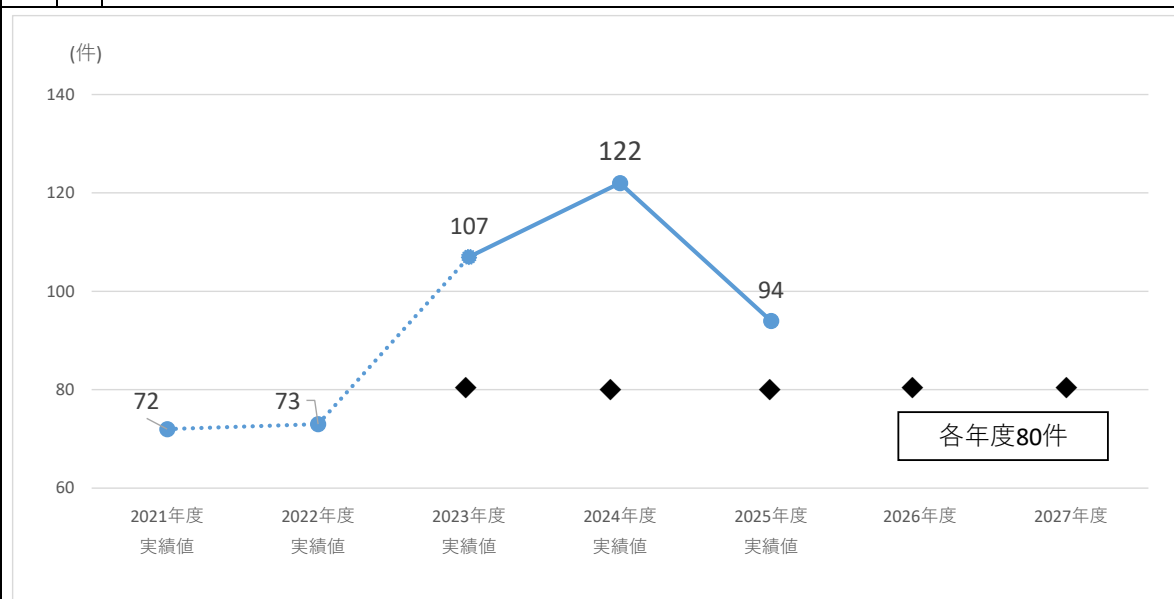


重点目標3 男女共同参画から見た健やかで安全・安心な暮らし

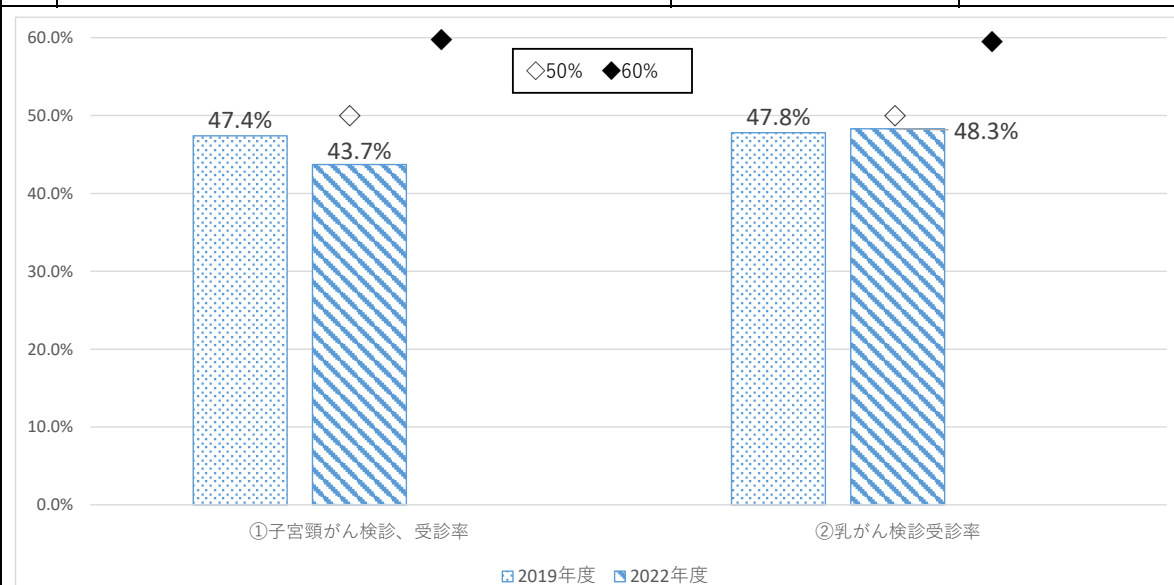
No	目標	目標値	最新値
8	夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合 ①平手で打つ／②何を言っても長時間無視し続ける／③大声でどなる／④生活費を渡さない／⑤交友関係や電話などを細かく監視する／⑥いやがっているのに性的な行為を強要する 〔県民ニーズ調査(課題)〕	①～⑥ 2022年度より増加すること (2027)	①78.8% ②54.9% ③59.8% ④72.1% ⑤53.7% ⑥86.9% (2022)



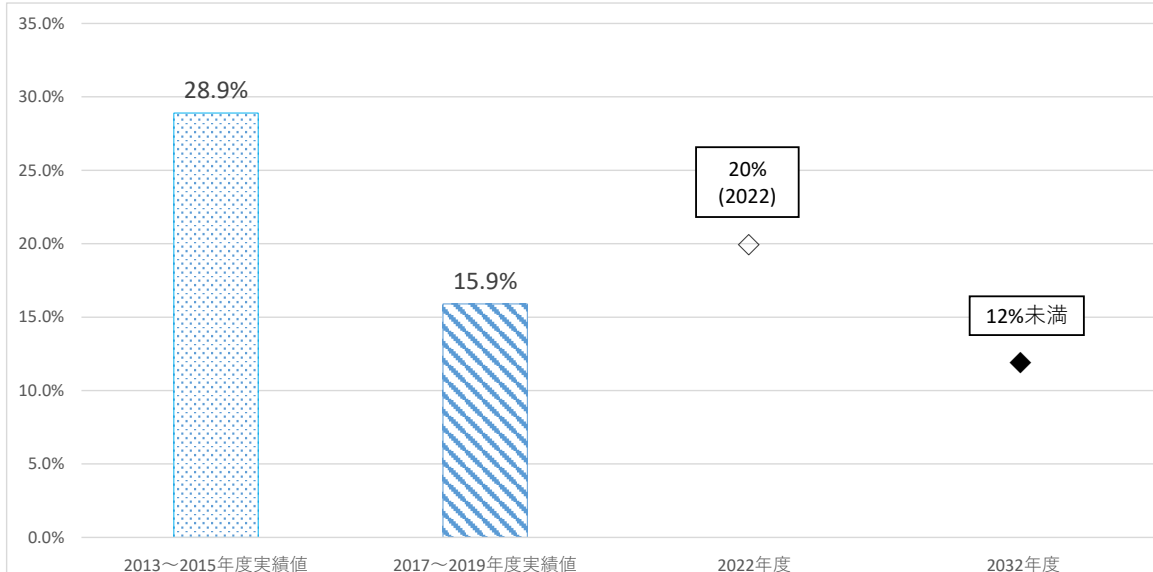
No	目標	目標値	最新値
9	養育費相談件数	各年度80件	94件 (2025)
評価	A	ひとり親の継続的な養育費確保につなげる取組は評価できるが、男女の賃金格差の視点も取り入れ、引き続き、ひとり親家庭への支援を行っていくことが重要である。	



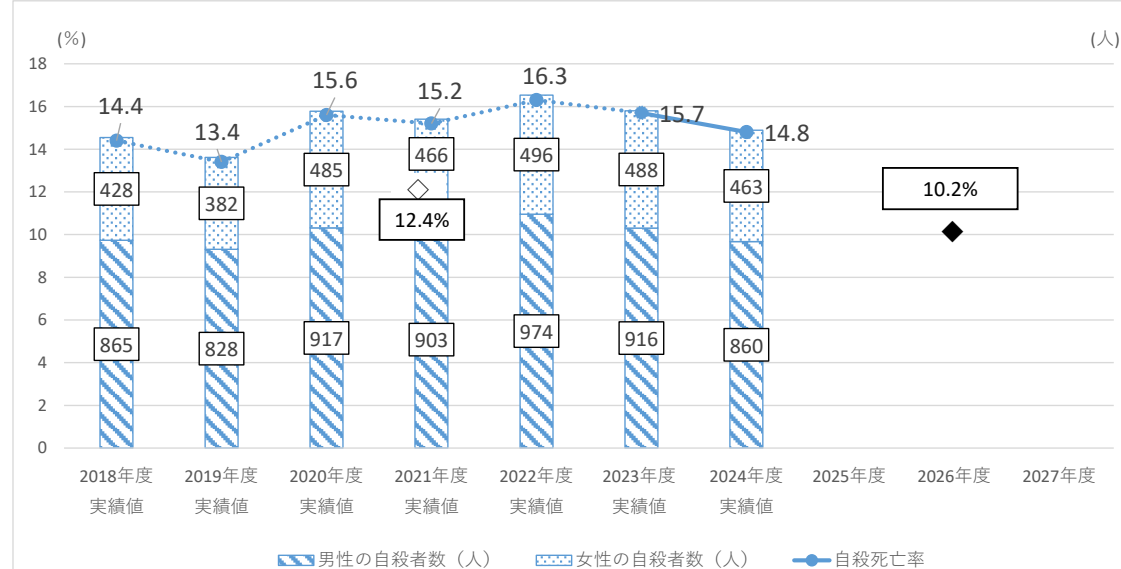
No	目標	目標値	最新値
10	子宮頸がん検診、乳がん検診受診率	①②共に50% (2023) ↓ ①②共に60% (2028)	次回は2025年度 調査 2026年度に 公表



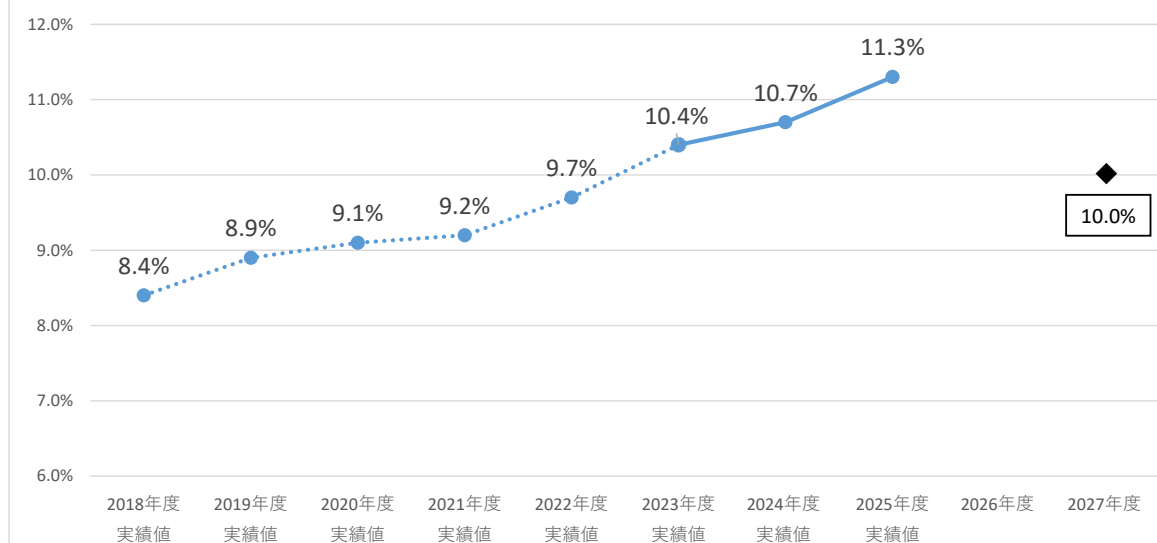
No	目標	目標値	最新値
11	20歳代の女性のやせの割合の減少 〔県民健康・栄養調査〕 →20～30歳代女性のやせの者の割合の減少	2023年度の「かながわ健康 プラン21」の改定に合わせ て設定 ↓ 令和14(2032)年度に12%未 満	14.7% (2017～2019) →15.9% (2017～2019) ※次回は令和10年度算 出予定



No	目標	目標値	最新値
12	自殺者の減少〔人口動態統計〕	自殺死亡率 10.2以下 (2026年)	自殺死亡率 人口10万対の 自殺者数 14.8 (2024年確定数) (参考：自殺者数) 男性860人 女性463人

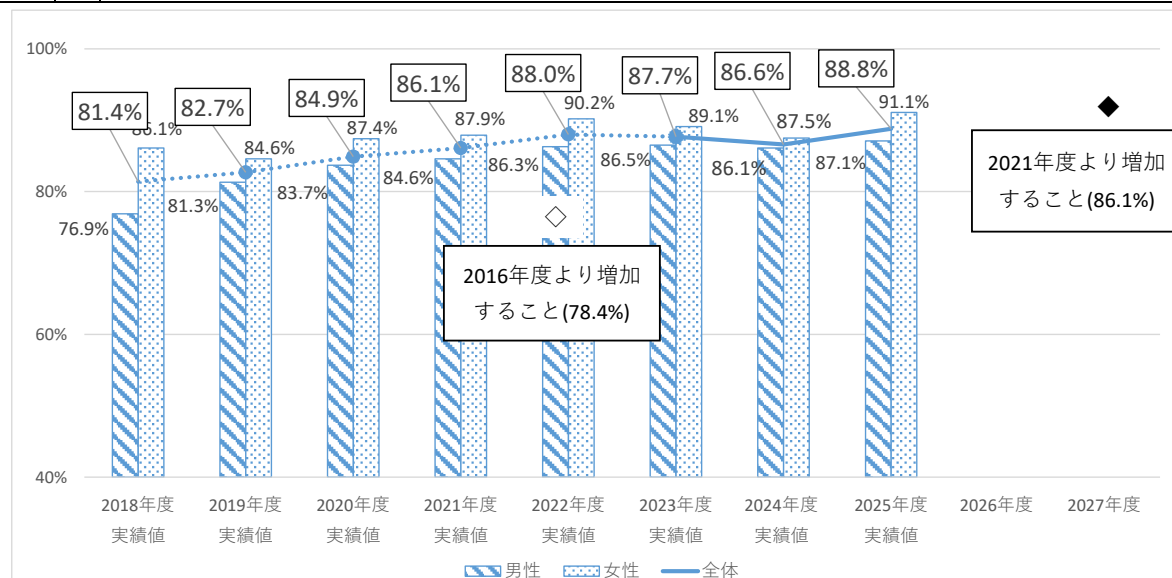


No	目標	目標値	最新値
13	女性消防団員の割合	10.0% (2027)	11.3% (2025)
評価	A 「女性消防団員の割合」について、目標を達成し、さらに実績を伸ばしていることは評価できる。引き続き、市町村と連携し消防団員の募集及び加入促進が必要である。		

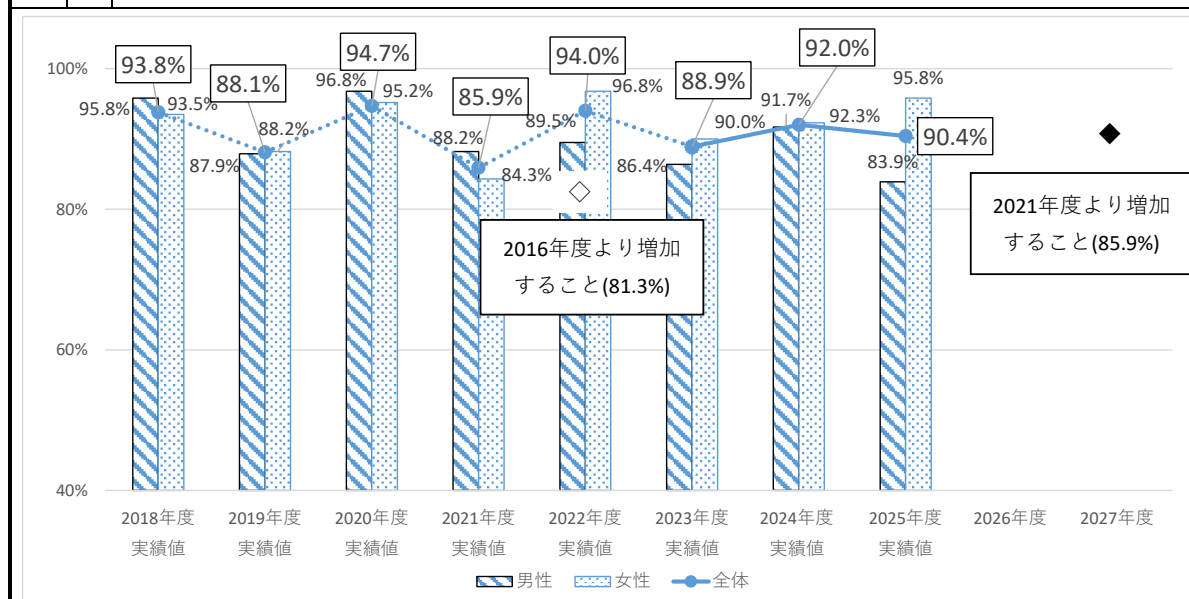


重点目標 4 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革と基盤整備

No	目標	目標値	最新値
14	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について「そう思わない」人の割合	2021年度より増加すること (2027) ↓ 93.0% (2027)	88.8% (2025) (女性91.1% 男性87.1%)
評価	B 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について、これまでの男女共同参画教育の取組により「そう思わない」18～29歳の人の割合について、高い水準で推移していることは評価できる。すべての人が固定的性別役割分担意識にとらわれず自分らしく生きられるよう、ジェンダー平等の視点で引き続き効果的な意識啓発を検討・実施することが重要である。		



No	目標	目標値	最新値
15	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について「そう思わない」18～29歳の人の割合	2021年度より増加すること(2027)	90.4%(2025) (女性95.8% 男性83.9%)
評価	B 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について、これまでの男女共同参画教育の取組により「そう思わない」18～29歳の人の割合について、高い水準で推移していることは評価できる。すべての人が固定的性別役割分担意識にとらわれず自分らしく生きられるよう、ジェンダー平等の視点で引き続き効果的な意識啓発を検討・実施することが重要である。		



No	目標	目標値	最新値
16	保育所等利用待機児童数	0人(2027)	138人(2025)
評価	D 「保育所等利用待機児童数」について、減少傾向にはあるが、目標値である待機児童ゼロを目指し、引き続き取組を進める必要がある。		

